

私のからだ・乳房と向き合う

乳がん検診

女性が一番多くかかるがんは
“乳がん”です

乳がんによって死亡する方は
年間1.4万人以上

乳がんにかかると罹患する方は
年間約9万人

一生のうちおよそ
9人に1人が
乳がんにかかります

乳がんにかかるピークは
40代後半～60代前半
20代から徐々に増え、30代から急増

出典：国立がん研究センター（死亡数：2019・罹患数・率：2017年・年齢別罹患数：2015年）

早期がん（Stage I期）の5年生存率は **100%!**

乳がん検診を定期的に受診しましょう！

厚生労働省では40歳以上の方に2年に1度の受診を勧めています。

40代未満もぜひご相談ください。可能な方は毎年の受診をおすすめします。

* 国立がん研究センター（5年相対生存率2020）

乳がん検査の種類

☆マンモグラフィ☆

- ・X線装置で乳房全体を撮影します。
- ・検査時間は5～10分程度。
- ・早期がんのサインである微小石灰化の描出に優れている。
- ・死亡率減少効果が認められている。
- ・乳房の全体像が把握できる。
- ・被ばくと痛みを伴う。
- ・乳腺密度が高い方（若い方に多い）は、がんと乳腺の判別が難しい。

☆乳房エコー☆

- ・超音波装置で乳房の断層面を撮影します。
- ・検査時間は5～10分程度。
- ・被ばくがない。
- ・痛みを伴わない。
- ・乳腺の発達している女性（若い方に多い）でも腫瘍を発見できる。
- ・早期がんのサインである微小石灰化を見つけない。
- ・乳房の全体像が把握しづらい。

* 乳がん検診はマンモグラフィと乳房エコーを同時に受診することもできます。

私のからだ・子宮と向き合う

子宮頸がん検診

誰がなっても
おかしくない



20,30代で
激増してます



細胞診検査 「表面の細胞を調べる」

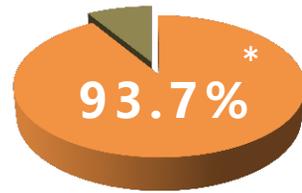


ブラシや綿棒で子宮頸部
表面の細胞を採取する

力を抜いて深呼吸してくださいね。
すぐにすみますよ。
正しい判定のためには、月経中と
月経直後を避けることをおすすめします。



「臨床病期Ⅰステージ(早期がん)」で 発見された場合の子宮頸がん5年生存率



早期発見・早期治療で
子宮頸がんは90%以上が治ります

* 国立がん研究センター 5年相対生存率(2020年)

検診でがん予防

- がんを発見できるだけでなく、
- がんになる前の段階である
「前がん病変」も発見可能です。

【イメージ図】



※ HPV(ヒトパピローウイルス): 性行為をした女性の約80%が一生涯に一度はかかるといわれる。HPVの感染自体は自然なこと、ふつうは自然消滅する。

「症状のない方も少なくとも、2年に1回の受診」

定期的に受診しましょう!



！ 月経時以外の出血、茶褐色・黒褐色のおりものが増える、下腹部の痛みなどの
自覚症状のある方は、検診を待たずに早急に婦人科を受診してください。